



臨時休校の再度の延長。5月11日(月)～5月31日(日)

国による緊急事態宣言の延長に伴い、香川県教育委員会から小中学校の臨時休校期間延長の要請があり、観音寺市においても5月31日まで、小中学校の臨時休校期間延長を決定しました。ただし、ミットメールでもお知らせしたとおり、現在のところ5月25日(月)から5月29日(金)の5日間について、6年生は毎日、そのほかの学年は週2回登校して授業を実施する予定です。学校としても、今回の延長を最後の延長として、6月1日(月)からは、通常どおり学校を再開したいと考えておりますので、保護者や地域の皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。なお、学校に関する情報は随時ミットメールにてお知らせいたします。

また、前回の天王丘でもお知らせした「観音寺市学習サポート」の第2期を配付いたしますので、臨時休校期間中の子どもたちの学習にご活用ください。

杵田小学校の校歌について

赴任して1か月が経ちましたが、臨時休校中のため、子どもたちや保護者の皆様、地域の方々に十分なお挨拶もできず、心苦しく感じております。この期間に少しでも杵田小学校のことを知ろうと考え、十分とはいえませんが、校歌について調べてみました。ご家庭でも話題に取り上げていただければ幸いです。(裏面に楽譜も掲載しています。)

理想の花が 咲いている 楽しい杵田小学校 深い誠を 学ぶのは 心みがいて 清らかに 波は 輝く 燧灘	歴史を 誇る 小学校 希望の鐘が 鳴っている	めぐる 平和の ふるさに いのち 明るく 育つのは	二 風は 緑の 杵田川 ときわの松が よんでいる	一 山は むらさき 雲辺寺 あおぐ ひとみも ほがらかに みんな なかよく 通うのは 天王丘の 小学校
---	--------------------------------------	---	--	---

昭和30年(1955年)、今から65年前、それまで杵田村立杵田小学校が観音寺市立杵田小学校と改称されたときにこの校歌は制定されています。作詞は脇 太一(わき たいいち)さん、作曲は山崎正七(やまさき しょうしち)さんという方で、ふたりとも元々教員で、それぞれ県内外の小中学校の校歌をたくさんつくっています。

Q: 歌詞にある「ときわの松」って何だろう?



脇さんは中部中学校の校歌も作詞していますよ。

山崎さんは高校の音楽の先生だったようだよ。



A: 昔の人は、1年中、葉が緑の木を常磐木(ときわぎ)と呼び、永遠の命やエネルギーを感じて尊いものとししました。特に松は神様が寄りつく木、神様を迎える木として、正月飾りや門松に用いられ、これらのことから「ときわの松」は、常緑でエネルギーに

